

2026年一月一日

ハンドサインは 「戦場の共通言語」？

ハンドサインは訓練なしでは使えない。
だから「手合図」。

戦国時代の軍は寄せ集め。言葉すら通じない。

さあ！どうする！！

講師：肥前春日流 宗家 上瀧泰史

企画 肥前春日流春日会
提供 合同会社ワーズ

セミナーテーマ

当時の軍は単体の組織ではなく小さな集団の寄せ集めであったことと、山や川を一つ越えると方言が違って言葉が通じないことも有ったことを軸に、初対面同士が行動するための知恵を紹介します。

負意外と知らない多国籍軍

●あんな何言ってるの？ Oh! What are you saying?

Point1 : 山の向こうは別世界。

Point2 : 藩が変われば言葉も変わる。

Point3 : 常識にとらわれるな？ 常識はとっても大事。

●個人や小隊が集まって「軍勢」になる。

Point1 : 石高と部隊編成の関係は？

Point2 : 「与力」という言葉の意味。

※与力衆の深い話は「軍学・兵法」編で・・・

